



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 株式会社アソインターナショナル 上場取引所 東
コード番号 9340 URL <http://www.aso-inter.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿曾 敏正
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 濱谷 雄二 TEL 03(3547)0471
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	2,816	8.8	456	26.4	431	17.4	306	38.2
2024年6月期第3四半期	2,589	9.4	360	15.2	367	33.6	222	2.8

(注) 包括利益 2025年6月期第3四半期 303百万円 (35.9%) 2024年6月期第3四半期 223百万円 (3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	31.42	30.79
2024年6月期第3四半期	22.86	22.45

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	3,113	2,797	89.9
2024年6月期	3,184	2,763	86.8

(参考) 自己資本 2025年6月期第3四半期 2,797百万円 2024年6月期 2,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年6月期	—	20.00	—		
2025年6月期（予想）				10.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
2025年6月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額で記載しております。また、当該株式分割による1株当たりの年間配当金については実質的な影響はございません。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年6月期（予想）の期末配当金は20円00銭、年間配当金は40円00銭であります。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,828	8.0	620	13.7	618	11.3	420	8.7	43.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2025年6月期の業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響（普通株式1株につき2株の割合）を考慮して

おります。株式分割の影響を考慮しない場合の2025年6月期の業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は85円98銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	9,768,600株	2024年6月期	9,768,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	50株	2024年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	9,768,560株	2024年6月期3Q	9,717,524株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、穏やかな回復基調を維持しておりますが、今年1月に日銀の金融政策決定会合で政策金利引き上げの決定、同月に発足した第2期トランプ政権における保護貿易主義の復活、ユーラシア大陸の地政学的環境の継続的悪化により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

一方このような状況の中、当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き社会における審美的な意識の高まり、未病改善への取り組み拡大等を背景として歯科矯正業界の事業環境は順調に推移しております。

当社グループにおきましては、顧客である歯科医療機関に対し高品質な矯正歯科技工物の提供や継続的営業活動等を通じて引き続き顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、コロナ禍にブームとなった歯科矯正治療の認知度は定着し、当第3四半期連結累計期間におきましても主力商品であるアライナーやIDBS（インダイレクト・ボンディング・システム）、リテーナー（保定装置）、アプライアンス（動的・機械的矯正装置）等の売上が堅調に推移し、WE スキャン、LuxCreo社製3Dプリンター等デジタル商材が引き続き業績に寄与しました。

また、海外におきましては、2024年4月に米国カリフォルニア州サンノゼ市に米国現地法人を設立いたしました。2025年3月末時点で、カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部及びテキサス大学歯学部ヒューストン校へ歯科矯正装置の公式サプライヤーとして登録され、米国における今後の受注体制を構築いたしました。

当社グループでは、当連結会計年度である2025年6月期を初年度とする「中期経営計画2025-2028」を策定いたしました。当連結会計年度では、事業拡大のための体制強化を行う期間と位置づけ、米国基盤の確立と受注増大に伴う社内体制の再構築を実現することにより、経営計画の目標達成に向けて取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,816,952千円（前年同期比8.8%増）、営業利益456,310千円（同26.4%増）、経常利益431,103千円（同17.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益306,943千円（同38.2%増）となり、以上の結果、増収増益となりました。

当社グループの事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（売上高、売上原価、売上総利益）

売上高は、既存の歯科医療機関からの追加受注及び新規の歯科医療機関の獲得もあり、矯正歯科技工物の受注が堅調に積みあがったこと及びWE スキャン、3Dプリンター等商材類の販売が好調により、前年同期比227,268千円増加し、2,816,952千円となりました。

売上原価は、主に商品や材料仕入、歯科技工士の労務費及び外注加工費を計上し、前年同期比131,157千円増加し、1,576,289千円となりました。

この結果、売上総利益は前年同期比96,110千円増加し、1,240,662千円となりました。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費は、前年同期比694千円増加し、784,352千円となりました。これは主に、営業部門や管理部門の人員の給料及び手当310,746千円、役員報酬50,163千円、運賃及び荷造費80,882千円を計上したことによるものであります。

この結果、営業利益は前年同期比95,415千円増加し、456,310千円となりました。

（営業外収益、営業外費用、経常利益）

営業外収益は、主に受取地代家賃3,817千円、受取利息及び配当金2,205千円等により8,311千円となりました。

営業外費用は、為替差損27,728千円等により33,517千円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比64,043千円増加し、431,103千円となりました。

（特別利益、特別損失、法人税等合計、親会社株主に帰属する当期純利益）

法人税等合計は前年同期比21,285千円減少し、124,159千円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比84,808千円増加し、306,943千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して71,475千円減少し、3,113,428千円となりました。これは主に、投資有価証券が81,611千円増加した一方、現金及び預金が113,611千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して106,087千円減少し、315,659千円と

なりました。これは主に、買掛金が34,695千円、未払法人税等が48,022千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して34,612千円増加し、2,797,769千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を306,943千円計上した一方、剰余金の配当268,636千円の支払い等によるものであります。

この結果、自己資本比率は89.9%（前連結会計年度末86.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期におきましても、社会における審美的な意識の高まり、未病改善への取り組み拡大等を背景として歯科矯正装置販売は堅調に推移するものと考えております。また、歯科矯正治療は現状過当競争となっている国内歯科医院業界へ安定した収益機会を提供できる一つの手段であるため、当社グループにとって、これからも国内事業環境は高水準で推移するものと考えております。

アライナーやIDBS、リテーナーをはじめとする主力商品のほか、当社グループが提供する多種多様な歯科矯正技工物のニーズは引き続き高く、口腔内スキャナーや3Dプリンター等のDX化商品の提案・プロモーション等と併せて、持続的な成長を目指してまいります。

また2024年4月に設立した「ASO INTERNATIONAL USA, INC.」を拠点とした北米での販売を強化し、高品質・高付加価値の製品を継続的に提供することにより、当社グループの海外売上高をより一層拡大することを目指してまいります。

更にグループ内での製造DX化も更に推し進め、業務コストの削減による利益率の更なる向上も図ってまいります。

以上から、2025年6月期の連結業績予想としましては、売上高は3,828百万円（前連結会計期間比8.0%増）、営業利益は620百万円（同13.7%増）、経常利益は618百万円（同11.3%増）、当期純利益は420百万円（同8.7%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,993	1,786,382
売掛金	492,386	454,552
商品及び製品	46,749	54,966
仕掛品	2,756	2,162
原材料	87,672	72,826
その他	59,744	51,088
貸倒引当金	△8,391	△8,350
流動資産合計	2,580,911	2,413,627
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	30,486	27,529
機械装置及び運搬具（純額）	56,645	44,726
その他（純額）	17,508	25,746
有形固定資産合計	104,641	98,002
無形固定資産		
ソフトウェア	43,130	36,806
無形固定資産合計	43,130	36,806
投資その他の資産		
投資有価証券	144,039	225,651
保険積立金	219,369	250,408
繰延税金資産	26,030	21,680
その他	70,285	70,542
貸倒引当金	△3,504	△3,291
投資その他の資産合計	456,221	564,991
固定資産合計	603,992	699,800
資産合計	3,184,903	3,113,428
負債の部		
流動負債		
買掛金	139,843	105,147
未払金	54,291	56,133
未払法人税等	89,994	41,971
賞与引当金	—	4,533
契約負債	19,489	20,228
その他	101,065	70,525
流動負債合計	404,684	298,540
固定負債		
資産除去債務	17,062	17,118
固定負債合計	17,062	17,118
負債合計	421,747	315,659

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,927	354,927
資本剰余金	344,927	344,927
利益剰余金	2,073,338	2,111,646
自己株式	—	△32
株主資本合計	2,773,193	2,811,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,147	3,173
為替換算調整勘定	△15,185	△16,873
その他の包括利益累計額合計	△10,037	△13,699
純資産合計	2,763,156	2,797,769
負債純資産合計	3,184,903	3,113,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	2,589,684	2,816,952
売上原価	1,445,131	1,576,289
売上総利益	1,144,552	1,240,662
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	297,021	310,746
役員報酬	54,513	50,163
運賃及び荷造費	88,328	80,882
貸倒引当金繰入額	4,056	775
賞与引当金繰入額	825	2,743
その他	338,912	339,040
販売費及び一般管理費合計	783,657	784,352
営業利益	360,894	456,310
営業外収益		
受取利息及び配当金	68	2,205
受取地代家賃	3,324	3,817
受取手数料	1,378	1,254
償却債権取立益	981	410
雑収入	5,116	623
その他	1,846	—
営業外収益合計	12,715	8,311
営業外費用		
支払利息	10	—
為替差損	5,545	27,728
支払手数料	944	1,259
その他	48	4,530
営業外費用合計	6,549	33,517
経常利益	367,060	431,103
特別利益		
受取賠償金	520	—
特別利益合計	520	—
税金等調整前四半期純利益	367,580	431,103
法人税、住民税及び事業税	149,019	118,998
法人税等調整額	△3,574	5,161
法人税等合計	145,445	124,159
四半期純利益	222,135	306,943
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,135	306,943

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	222,135	306,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,079	△1,974
為替換算調整勘定	4	△1,688
その他の包括利益合計	1,084	△3,662
四半期包括利益	223,219	303,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,219	303,281
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	32,036千円	33,775千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2024年3月31日）

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。